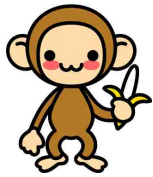


NST NEWS

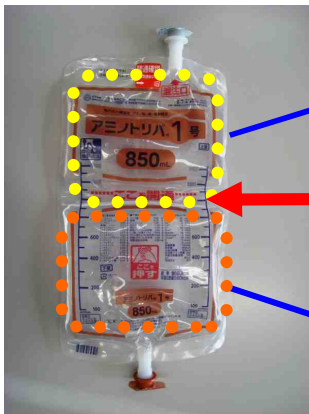
H20.1.28

第 15 号



輸液製剤にはなぜ
2部屋に分かれてるものがあるの？

当院採用のダブルバッグ製剤にはアミノトリパ1号・2号とツインパールがあります。
アミノトリパ1号を例にあげて、上室液と下室液の組成を比べてみましょう。

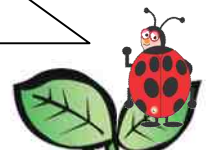


上室液: **アミノ酸**

隔壁

下室液: **糖**(ブドウ糖など)、**電解質**(ナトリウム、カリウム、カルシウム等)

製剤によっては、上室がブドウ糖
だったり、アミノ酸だったりするの
はなんでなんかな～？
2月のランチタイム勉強会で聞
いてみなあかなあ…



ダブルバッグ製剤とは、輸液が隔壁を介して**アミノ酸**と**糖・電解質**に分かれているものです。使用
する際には、写真のように下室を両手で押して、隔壁を開通し、上室と下室を混合します。



隔壁開通忘れ防止のために、
看護部では、この開通確認シールを
利用しているのよ。



もし隔壁の開通を忘れた場合、下室液の高濃度の糖だけが投与されるため、一時的な高血糖状
態が生じたり、また、投与中止後に低血糖症状が生じる可能性があります。

では隔壁の開通忘れなどの問題があるのに、なぜダブルバッグになっているのでしょうか。

ブドウ糖とアミノ酸を混合しておく、時間がたつにつれて**メイラード反応**を起こし、褐色に着色し
効果が下がります。そのため投与する直前に混合しなければならないのです。

メイラード反応…アミノ酸と糖が反応して褐色物質を生成する反応のこと。食品においては、製
品の着色、香気成分の生成等に関わる反応であり、非常に重要とされている。例
えば味噌の場合、発酵時のメイラード反応の度合いによって色に差が生じ、反応
が十分に起こった味噌ほど濃い褐色を帯びる。従って、銘柄によって色が違っ
てくる。他に肉や魚の「焦げ」の形成や、コーヒーの焙煎などにも関与している。



～ 以前 NEWS で紹介した乳酸菌発酵成分流動食の**ファイブレン YH** の症例報告をします～

10月の勉強会でも紹介され、病棟から提案があり採用されました

A氏 (90歳代, 男性)

病名: 廃用症候群(肺炎後)、下痢症、嚥下障害

問題: 下痢が続く。ランチタイム勉強会にてファイブレン YH 紹介後に病棟看護師より依頼受け、栄養カンファレンス実施。

内容: 身長: 156 cm 体重: 53.0 kg BMI: 21.8 TP: 6.0 g/d l Alb: 2.7 g/d l
便の状態はほぼ毎日水様便。まれに普通便の時あり。
褥瘡あり。治癒遅延傾向。

食事内容: 段階を経て徐々にファイブレン YH の割合を増やし、問題なければ継続使用。

	朝	昼	夕	熱量/日(Kcal)
開始前	ジクス400Kcal	ジクス300Kcal	ジクス400Kcal	1100
第1段階(10/22~)	ジクス400Kcal	Fibren 1本(250)	ジクス400Kcal	1050
第2段階(10/29~)	ジクス300Kcal	Fibren 2本(500)	ジクス300Kcal	1100
第3段階(11/5~)	ジクス300Kcal	Fibren 2本(500)	Fibren 1本(250)	1050



経過: ファイブレン YH 使用開始後、下痢と軟便交互となる。使用開始以前は毎日続いていた下痢が5日目に一時的に止まる。その後、下痢症状時々見られるも水様状が以前と比べて軟状。

考察: ファイブレン YH の効果あり。

B氏 (90歳代, 女性)

病名: 廃用症候群、慢性腸炎、嚥下障害

問題: 下痢が続く、軟便。病棟看護師より依頼受け、栄養カンファレンス実施。

内容: 身長: 151 cm 体重: 35.6 kg BMI: 15.6 TP: 6.9 g/d l Alb: 3.4 g/d l
依頼前食事内容: 経管栄養 1000kcal (300,300,400) メイバランス Sジクス

依頼後食事内容: 段階を経て徐々にファイブレン YH の割合を増やし、問題なければ継続使用。

A氏と第1段階・第2段階・第3段階のプラン内容同様。(11/12~開始)

経過: ファイブレン YH 使用開始2日後、下痢症状軽減。その後、下痢と軟便繰り返すも、下痢の頻度は以前よりわずかながらも少なくなっている。

考察: 著明な変化は見られないが、ファイブレン YH の効果ありかも。

C氏 (80歳代, 女性)

病名: 脳梗塞後遺症、便秘症、嚥下障害、

問題: 体重減少傾向。栄養カンファレンスにて下痢との情報得て、ファイブレン YH 使用を検討。

内容: 身長: 157 cm 体重: 30.6 kg BMI: 12.4 TP: 7.1 g/d l Alb: 3.3 g/d l
BMI 低値のため経管栄養のカロリーUP 検討。

食事内容: 時々下痢があるため以前から経管栄養 800kcal。下痢改善目的のためファイブレン YH を昼食に加え経管 1050kcal となる。糖尿病のためファイブレン YH は昼のみ1本で継続。

	朝	昼	夕	熱量/日(Kcal)
開始前	PN-Hi400kcal		PN-Hi400kcal	800
第1段階(12/3~)	PN-Hi400kcal	Fibren 1本(250)	PN-Hi400kcal	1050

経過: 使用開始以前は便秘と下痢を繰り返していた。使用開始後も変化見られず。

考察: ファイブレン YH の効果は今のところあまり見られない。

